令和8年度版「学力向上ポートフォリオ（学校版）」【大成小学校】

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する資質・能力	既習の知識や技能を根拠として効果的に活用し、筋道を立てて自らの考えを伝え合うことができる資質・能力
⇓	
実施する学力向上策【時期・頻度】	問題の答えを求めるだけではなく、どのように考え、その答えを出したのか、根拠となる資料や叙述を示して児童が自らの言葉や図、式を用いて考えを説明し合ったり、多様な解法を比較検討したりする授業の実施【各単元の中で1回以上】

②	全国学力・学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	・国語の「筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えるとともに、引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」問題に課題が見られた。解答類型と反応率を見ると、自分の考えは書けているが、集めた情報の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、抜き出して書いていない児童が多かった。 ・算数の「二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる」問題に課題が見られた。解答類型と反応率を見ると、複数の条件を組み合わせて読み取ることができていない児童が多かった。
⇓	
結果から考えられる児童生徒の実態	・根拠を明確にし、筋道を立てて自らの考えを伝え合うことに引き続き課題が見られる。

③	中間評価	
学力向上策の実施状況	評価（※）	学力向上策は実施できている。根拠となる資料や叙述を、自分で見つけたり、複数の資料を比較しながら活用する場面を意図的に設けて指導していく。
	B	
⇓		
学力向上策の見直し	（変更なし）	

※評価　A 8割以上（達成）　B 6割以上（おおむね達成）　C 6割未満（あと一歩）

④	さいたま市学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	
⇓	
結果から考えられる児童生徒の実態	

⑤	年度末評価	
学力向上策の実施状況	評価（※）	
⇓		
今年度の成果と次年度の課題		

※評価　A 8割以上（達成）　B 6割以上（おおむね達成）　C 6割未満（あと一歩）